

### 第3回 鳳来北西部地域協議会 会議録（要約）

<b>日 時</b>	令和4年8月9日（火） 午後7時～午後8時40分
<b>場 所</b>	玖老勢コミュニティプラザ 1階 多目的ホール
<b>出席者</b>	委員18名 事務局3名
<b>傍聴人数</b>	なし
<b>次 第</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 あいさつ</li> <li>2 意見交換 令和5年度地域自治区予算事業計画（案）について</li> <li>3 議事 地域計画推進体制検討会について</li> <li>4 その他 今後のスケジュールについて</li> </ol>
<p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原田会長よりあいさつ</li> <li>・議事に先立ち、会長から下記の委員を議事録署名人として指名。</li> </ul> <p>【議事録署名人】</p> <p style="padding-left: 40px;">『名簿6番』田中宗雄委員 『名簿7番』名倉利幸委員</p> <p>2 意見交換</p> <p>○令和5年度地域自治区予算事業計画（案）について</p> <p>事務局より、資料に沿って下記の内容を説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AED普及推進事業は、現在設置されているAEDの賃借料を継続して予算計上する。また、海老構造改善センターに設置してあるAEDの契約が来年6月で契約満了となるが、地元と協議し、更新後は屋外に設置する方向で予算計上する。</li> <li>・無形文化財保存事業は、今年度四谷地区のはねこみを撮影予定であったが、縮小して実施する方向となった。地区と協議し、通常通りの開催ができるようになってからすべてを撮影したいという意向を踏まえ、通常開催ができるようになった翌年に予算計上する方向となった。</li> <li>・地域安全灯設置費補助事業は、5地区から要望があり、165千円を計上した。</li> <li>・防災活動補助事業は、1地区から要望があり、12千円を計上した。</li> <li>・自主防災組織防災活動援助事業は、玖老勢地区からバルーン投光器2基の要望があったが、分科会での検討で鳳来西、海老にも必要と判断し各地区1基で計上。</li> </ul>	

- ・交通安全施設整備事業については、門谷から要望があったが土木課との検討で、過去の土木要望分を併せて土木課予算で実施する方向となった
- ・地域自治活動備品整備事業は、3地区からの要望を計上した。
- ・保育所英語講師派遣事業は、新たに外国籍講師派遣の予算を計上した。
- ・小学校英語教育推進事業は、新たに3・4年生へ講師を派遣することとした。
- ・共育活動支援事業は、活動の幅を広げるため共育施設に新たにWi-Fiを設置する。
- ・子育て関係者からの要望事業は、こども園に網戸と掲示板を設置する予算を計上した。小学校へ災害時用のスポットクーラー、ストーブの配備については、防災対策課と調整した結果、学校側に備品を置くスペースがないとのことであったため計上を見送った。
- ・地区敬老事業援助事業は令和5年度で終了とし、それ以降は買い物支援や世代間交流事業などに切り替えていく方針とした。
- ・地域の見守り事業は、分科会でカードの更新を隔年とする方針となったため予算を計上しない。
- ・現時点での令和5年度地域自治区予算の計上額は4,896千円で、予算上限額に対して2,034千円が残額となっている状況である

#### 【質疑応答】

##### 『委員』

- ・予算の残額があるのに、玖老勢地区から要望したバルーン投光器が1基に減らされている理由が分からない。予算があるのであれば要望どおりとしてもらいたい。
- ・また、要望が出ていない地区にバルーン投光器を配備する理由が分からない。こども園の網戸等については、前回の話の中では地域協議会で確認することであったが、今日の説明では予算が決定しているように感じた。

##### 『事務局』

- ・バルーン投光器については、分科会での検討により鳳来寺地区、鳳来西地区、海老地区に各1台設置する方向でどうか？という提案があったため、計画案としてその提案で計上してある。本日の地域協議会で委員の皆さんから意見をもらいたい。
- ・子育て関係の要望についても、決まっている訳ではない。分科会からいただいた提案を検討するうえで計上しており、これについても委員の意見をもらい、次回地域協議会で決定していきたい。

##### 『委員』

- ・予算を検討するスケジュールがタイトであるため、今回の資料は役員会で協議し、事務局が予算額をまとめたものである。バルーン投光器については、採決を取るべきだと思う。

##### 『委員』

・ぜひ採決を取ってもらいたい。予算に残額があるが、今日が提案できる最後の機会となるので、他の委員にも意見を出してもらいたい。

『委員』

・バルーン投光器について、この事業は自主防災会への備品貸与事業である。鳳来西地区は、旧鳳来西小学校は布里地区にあるが、そこに避難する地区は多いため、布里地区として手を挙げて要望設置するという考えを提案しにくいという状況もあるのでないか？地域振興分科会としては、地域全体のことを考え、各地区1台ずつに配備するのがいいではないかと提案させてもらった。  
・台数については、まずは1台整備し、活用していった結果、もう1台増やすなどにしてもいいのではないかと意見もあったため。

『委員』

・自分の地区では公民館事業で発電機と照明を整備した。以前、公民館に避難所を開設した際、その発電機と照明がとても有効であった。分科会で各委員に聞き取りをしたところ、バルーン投光器は備蓄されていないとのことであったため、必要性も考慮し鳳来西地区、海老地区にも各1台加えさせてもらうこととした。

『委員』

・防災資機材については、各地区で様々な資材を備蓄しているが、他地区でどんなものを備蓄しているか誰も知らないと思う。どこにどんなものが備蓄されているかを知ることができるシステムを地域自治区で作るべきではないかと思う。

【採決】

①自主防災組織防災活動援助事業について

→賛成多数により、自主防災組織防災活動援助事業のバルーン投光器の配備については、玖老勢地区2台、鳳来西地区、海老地区に各1台とすることに決定。

②子育て関係者からの要望事業について

→賛成多数により、こども園への網戸設置及び屋外掲示板の設置を予算計上することに決定。

・採決結果を踏まえて、次回地域協議会にて正式決定することとなった。

3 議事

○地域計画推進体制検討会について

事務局より、資料に沿って説明。

・推進体制検討会メンバー構成については、前回の地域協議会にて、地域協議会委員（役員、地区長）と若者世代（こども園保護者会、小学校PTA、消防団）の計12名で構成すると決まった。

・若者世代の関係者に説明会を実施したが、参加者からいくつか意見が出された。

→団体とし誰を委員に選出するのか選ぶことが困難

→同世代の有志が集まった方が率直な意見交換ができる 等

・また、若者世代から、『検討会とは別に同世代の有志で団体をつくり、自分達の考えをまとめて、検討会に情報提供する体制でどうか?』との提案があった。

・役員会では若者世代からの提案はあったが、検討の内容をよく理解してもらい、新たな体制と一緒に考えたいため、地域協議会で決定したメンバー構成を進めていくべきと意見がまとまった。協議会委員の意見を聞いて、方針を決定したい。

#### 【質疑応答】

『委員』

・地域協議会委員だけで今後の体制を考えることは難しいと思うので、幅広い世代の意見を取り入れることが必要と考えている。

『委員』

・若者世代が別グループをつくり、意見を吸い上げるのは難しい。地域協議会で決定した構成が良いと思う。場合によっては、はじめは別でも後から合同という形もやむを得ないのではないか?

『事務局』

・検討会は1年間を目処としており、体制案がまとまった時点で解散となるので、最後までメンバーは固定としたい。

『委員』

・地域協議会委員は2年任期となっているが、1年で交代となる委員が多い。必ず2年間委員を務めることが必要で、それを考えて行くことが最初だと思う。多くの意見を聞こうと思うと、若者だけでなく、高齢者、障害者などキリがないので、意見をまとめていくことが難しくなるのではないか?

『委員』

・メンバー構成は地域協議会で決定されているので、そのとおりに進めるのが良い。

・検討した結果が上手くいかなかったのであれば、その時に再度検討会を立ち上げれば良い。

『委員』

・検討会は必ずやるものなのか?毎年地域協議会のメンバーが替わるのに、今決めた体制を新しい地域協議会メンバーで実行できるのかが疑問である。本来であれば地域協議会委員を務めた人が、委員を外れた後も地域自治体の取り組みに協力する広がりが必要だと思うが、その様な動きをあまり感じられない。毎年、これからの北西部をどうするか話し合っているが、堂々巡りで何も変わっていない。検討会を開くのであれば、そのメンバーが中心となって、これからの北西部の取り組みが広がっていくものにして欲しい。地域協議会委員は

地域協議会で出た話題を周りに広めてもらいたい。

『事務局』

・若者世代も参加してもらい、地域自治体の取り組みの広がりも含めて、今後どうしていくのかを検討会で話し合うことが必要と考えている。今回は若者世代から提案が出たため、地域協議会で相談させてもらった。

【採決】

・賛成多数により、若者世代から提案があったが、地域協議会で決定したメンバー構成で検討会設立をする方針となる。

・協議会で決定した方針を再度若者世代に報告し、検討会への参加を依頼した結果、参加の意思がある方がいなかった場合は、地域協議会委員（役員、地区長）の6名で検討会を開催することとする。

4 その他

事務局より今後のスケジュールについて説明

- ・第4回地域協議会 8月23日（火）19時～
- ・地域自治体予算事業計画（案）意見募集 9月16日～9月30日
- ・第5回地域協議会 9月27日（火）19時～
- ・第6回地域協議会 10月11日（火）19時～  
※地域自治体予算事業計画（案）に意見が出た場合の未開催
- ・第7回地域協議会 10月25日（火）19時～  
※市長建議、終了後地域意見交換会

菅沼事務所長のあいさつで終了（午後8時40分）